

平成 14 年 7 月 16 日

各 位

日本カーボン株式会社
(コード番号 5302)
代表取締役社長 鳥羽 雄一

新日鐵化学株式会社
(コード番号 4363)
代表取締役社長 西 恒美

新日化テクノカーボン株式会社
代表取締役社長 千葉 隆

日本カーボン(株)と新日鐵化学(株)の特殊炭素製品事業の統合について

本年 3 月 11 日に発表致しました、日本カーボン(株)と新日鐵化学(株)両グループの特殊炭素製品事業の統合につきまして、7 月 15 日に開催した新日化テクノカーボン(株)の取締役会及び本日開催した日本カーボン(株)の取締役会の承認を得たことから、平成 15 年 1 月 1 日をもって、日本カーボン(株)の特殊炭素製品事業に関する営業を会社分割により新日化テクノカーボン(株)に承継する会社分割契約を、本日締結致しましたのでお知らせします。

また、本分割に伴い、新日化テクノカーボン(株)は、平成 15 年 1 月 1 日付で「新日本テクノカーボン(株)」へ商号を変更し、日本カーボン(株)の連結子会社となります。

記

1. 会社分割の目的

特殊炭素製品とは、ピッチコークス等を主原料として、微粉碎、成形、焼成、黒鉛化等の工程を経て作られる黒鉛素材をベースに、各種用途に応じて機械加工・表面処理等を施した炭素・黒鉛製品です。その製品特性として、耐熱性、導電性、耐薬品性などに優れており、半導体・通信・電子機器製造用、原子力用、航空・宇宙用、機械・輸送機用、工業炉用など、その用途は幅広く、今後も先端的産業分野を中心にますます広がっていくものと考えられております。

しかし一方で、長期化した需要低迷を背景に企業間競争は険しさを増しており、今後事業環境の好転を容易には見込めない状況下で、本事業分野においても、コスト削減はもとより、事業の優位性・差別性を一層高める商品開発力や生産販売体制の強化・安定が極めて重要な経営課題となってまいりました。

これまで両社グループは、それぞれが一貫した特殊炭素製品事業を展開してまいりましたが、かかる事業環境を踏まえたうえで、本事業分野における協力の可能性について検討を重ねた結果、黒鉛素材製造技術並びに機械・機器分野の販売に強みを持つ新日鐵化学グループと、製品加工・処理技術並びに半導体分野での販売に強みを持つ日本カーボングループが事業統合を成し遂げることにより、

素材生産、製品加工・処理、販売、研究開発等すべての機能を補完し合い、幅広い需要分野に対応できる強固な事業基盤を確立することが可能となる、

コスト競争力、商品・技術開発力の強化とともに、効率的な事業運営体制が確立され業界最高レベルの特殊炭素製品事業を構築することができる、

との認識で一致し、会社分割による事業統合を行うことと致しました。

2. 分割方式

日本カーボン(株)を分割会社とし、新日化テクノカーボン(株)を承継会社とする分社型吸収分割であり、本分割により発行する新日化テクノカーボン(株)の新株全て(普通株式 493,000 株)を日本カーボン(株)に割当交付するものです。

3. 会社分割の内容

(1) 承継事業部門の内容

本分割により日本カーボン(株)から新日化テクノカーボン(株)に承継される事業は、日本カーボン(株)の特殊炭素製品事業に関する営業及びその関連子会社です。承継事業の連結ベースでの売上高は37億円(平成13年12月期)、従業員数は約60名(子会社を除く)です。日本カーボン(株)の子会社である山形カーボン(株)、京阪炭素工業(株)及び九州炭素工業(株)は、本分割により新日化テクノカーボン(株)の100%子会社になります。また、同じく日本カーボン(株)の子会社である日本カーボン精工(株)は、本日以降、分割期日までに、新設分割により設立される新設会社と日本カーボン精工(株)になり、新設会社は本分割により新日化テクノカーボン(株)の100%子会社となります。

(2) 承継会社(統合新会社)の概要

商号 新日本テクノカーボン株式会社

(英文表記: NIPPON TECHNO - CARBON CO., LTD.)

事業内容 特殊炭素製品、放電加工用電極、人造黒鉛電解板などの製造・販売

本店所在地 宮城県黒川郡大郷町川内字中坪山62番地6

代表者 代表取締役社長 坂本 一弘

資本金 493百万円

出資比率 日本カーボン(株) 50% 新日鐵化学(株) 50%

総資産 7,100百万円(2,600百万円)の見込み

(注)()内は会社承継による増加見込み分である。

決算期 12月31日

承継後の業績見通し

	平成15年12月期	平成16年12月期
売上高	7,410百万円(4,560百万円)	7,510百万円(4,660百万円)
営業利益	680百万円(350百万円)	760百万円(430百万円)
経常利益	610百万円(310百万円)	690百万円(390百万円)
当期純利益	330百万円(180百万円)	380百万円(230百万円)
1株当たり年間配当金	未定	未定

(注)()内は会社承継による増加見込み分である。

(3) 承継会社に新たに就任する役員

取締役 井上 道雄 (現 日本カーボン(株) 専務取締役)
取締役 坂本 一弘 (現 日本カーボン(株) 常務取締役)
取締役 金丸 次信 (現 日本カーボン(株) 執行役員山梨工場長)
取締役 角川 洸右 (現 日本カーボン(株) 執行役員大阪支店長)
取締役 千葉 隆 (現 新日化テクノカーボン(株) 代表取締役社長)
取締役 山下 良 (現 新日化テクノカーボン(株) 取締役工場長)
取締役 見越 和宏 (現 新日鐵化学(株) 取締役炭素・ガス事業部長)
取締役 矢野 龍彦 (現 新日鐵化学(株) 炭素・ガス事業部マネージャー)
監査役 増田 忠雄 (現 日本カーボン(株) 執行役員総合企画部長)
監査役 中西 隆夫 (現 新日鐵化学(株) 常務取締役)

< 本件に対するお問い合わせ先 >

日本カーボン(株) 業務管理部 TEL 03-3552-6111

新日鐵化学(株) 総務部(広報) TEL 03-5759-2741